報道関係各位　　2015年1月9日　1/1

国立大学法人
名古屋工業大学

工学で日本の超高齢化を救う！
コミュニティ工学フォーラム2014開催

名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センターは、2012年4月の設立以来、超高齢社会におけるコミュニティの問題について工学分野からアプローチし、課題解決をすすめる「(仮称)コミュニティ工学」の研究や教育、社会実装に取り組んできました。
これら3カ年の活動を振り返り、これからの高齢社会とコミュニティ問題を考えるフォーラムを以下のとおり開催いたします。

日　時　2015年1月24日（土）13:30－16:30
場　所　名古屋工業大学　講堂　会議室
題　名　コミュニティ工学フォーラム2014　－地域とつくる工学
主　催　名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター

第Ⅰ部（13:30－14:10）成果報告　コミュニティ創成教育研究センターのこれまでとこれから
第Ⅱ部（14:10－15:00）特別講演　空き家活用から始まるコミュニティ創成
第Ⅲ部（15:10－16:30）パネルディスカッション　助け合いを工学する

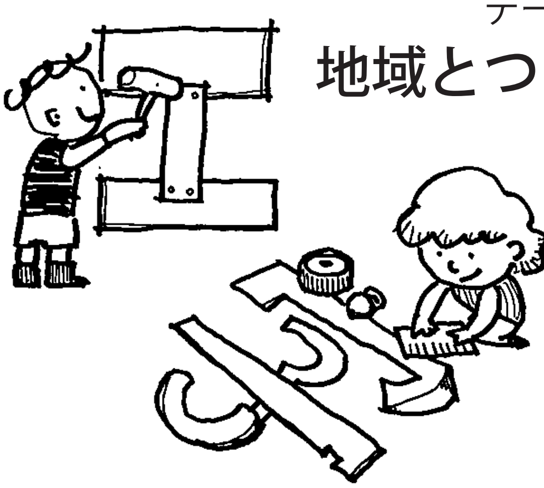
詳しくは、当センターHP（http://community.web.nitech.ac.jp/）をご覧ください。
資料準備の都合上、事前の参加申し込みをお願いいたします（1/22締切）。

本件への問い合わせ
国立大学法人名古屋工業大学
コミュニティ創成教育研究センター
TEL：052-735-5334　FAX: 052-735-5269
E-mail：community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp
担当：三矢・浜口

名古屋工業大学
コミュニティ創成教育研究センター

コミュニティ工学 フォーラム2014

テーマ
地域とつくる工学



1/24（土）

開始 13:30 終了 16:30
（受付開始　13:00～）

名古屋工業大学 講堂　会議室

総合司会：浜田恵美子・名工大教授
（産学官連携）

第Ⅰ部（13:30－14:10）

成果報告 **コミュニティ創成教育研究センターのこれまでとこれから**

（1）コミュニティ工学を目指して
秀島栄三・名工大コミュニティ創成教育研究センター長・教授（都市基盤計画）

（2）市民の方々からいただいたアイディアの社会実装の報告
浜口祐子・名工大特任研究員（環境教育）

（3）ユーザーと共進化する工学の事例紹介：歩行支援機 ACSIVE
佐野明人・名工大教授（機械工学）

第Ⅱ部（14:10－15:00）

特別講演 **空き家活用から始まるコミュニティ創成**

〔講師〕
山田　崇　氏（塩尻商工会議所総務課主任〔塩尻市役所から出向中〕、空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクト nanoda 代表）

モデレーター：伊藤孝紀・名工大准教授（環境デザイン）

第Ⅲ部（15:10－16:30）

パネルディスカッション **助け合いを工学する**

コーディネーター：三矢勝司・名工大特任助教（まちづくり）
パネリスト：一口武夫氏（おたすけ会会長）
天野裕氏（NPO 岡崎まち育てセンター・りた事務局長）
横山淳一・名工大准教授（社会システム工学）
小田亮・名工大准教授（認知科学・人類学）
佐野明人（前掲）
山田崇氏（前掲）

参加方法

資料準備の都合上、当センター HP よりお申し込みいただくか、裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入いただき FAX でお申し込みください。どなたでも参加いただけます。参加費は無料です。
（1 月 22 日締切）

問合せ・申し込み先

名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター
電話　052-735-5334　　FAX　052-735-5269
メール　community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp
H　P　http://community.web.nitech.ac.jp/

CRAT
コミュニティ創成教育研究センター

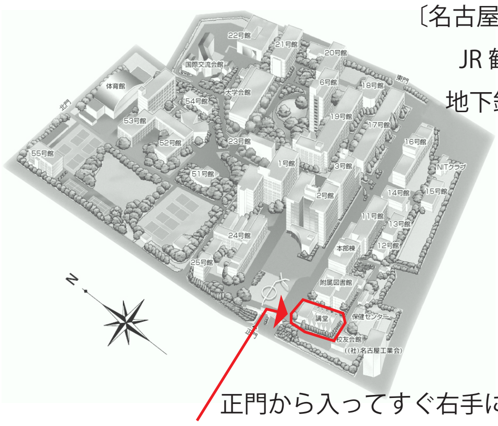
第Ⅱ部　特別講演　講師

塩尻商工会議所総務課 主任(塩尻市役所から出向中)
空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクト
nanoda 代表

山田　崇
（やまだ　たかし）

1975 年塩尻市生まれ。千葉大学工学部応用化学科卒業。「実際に住んでみないと商店街の現状・課題は わからない」と、地元塩尻の " 大門商店街 " に空き家を借り、「空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクト nanoda」を 2012 年 4 月より開始。2014 年 1 月「地域に飛び出す公務員アウォード 2013」大賞を受賞。TED トークでの動画「元ナンパ師の市職員が挑戦する、すごく真面目でナンパな地域活性化の取組み」が話題に。

会場へのアクセス



〔名古屋市昭和区御器所町〕
JR 鶴舞駅　名大病院口
地下鉄鶴舞駅　4 番出口
より
会場まで 10 分程度

正門から入ってすぐ右手にある講堂会議室

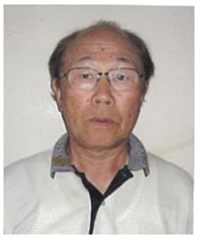
工学技術とコミュニティをつなぐ

コミュニティ創成教育研究センター長
秀島　栄三

工学の研究者には、ユーザーとのコミュニケーションを通じてニーズとシーズを少しずつ繋ぎ、技術の水準を高めるとともに、より適切な形で技術が使われるようにする努力も求められます。「コミュニティ」に求められる技術を考える際も同様と考えます。そこで私たちは、地域で実現しようとするビジョン（意図）をもち、コミュニティの現場に入り込んで観察し、理解を深めることから始めました。こうしたセンターでの取り組みは、実践科学の様相を呈しています。

センターでは今後、研究と教育を通じてコミュニティと工学の関わり、コミュニティを支援する工学について概念や方法論を構築し、共有を進めてまいります。

第Ⅲ部　パネルディスカッション　ゲスト



おたすけ会　会長

一口　武夫
（かずぐち　たけお）

1939 年横浜市生まれ。会社を定年退職する直前の時期に、行政サービスではケアが行き届かず、お困りになっている高齢者の存在に気がつき、2007 年に住民主体の助け合い活動団体「おたすけ会」を設立（年間 155 件の実績）。現在、同会の会長。

NPO 岡崎まち育てセンター・りた
事務局長

天野　裕
（あまの　ゆたか）

1976 年岡崎市生まれ。博士（工学）。専門は住民参加のまちづくりとメキシコの都市民衆運動史。岡崎市の公共空間計画策定、市民活動・地域活動支援、空き家と路地を活用した都市再生等に取り組む。

コミュニティ工学フォーラム 2014　FAX 用申し込み用紙　（1 月 22 日締切）

※いただいた個人情報は、コミュニティ創成教育研究センターに関する情報提供に使わせていただきます。

ふりがな		所属など	
参加者氏名			
連絡先	希望する連絡方法を 1 つ選んでご記入ください。（メール・FAX・郵送）		
このイベントについてどこで知りましたか？	（あてはまるものに○をつけてください） HP・チラシ・Facebook・知人の誘い・その他（　　　　　　　　　）		

FAX：０５２－７３５－５２６９